

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2023年11月)

2023年11月  
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 1日、テブン大統領は、革命記念式典を主催するとともに、殉教者広場を訪問。
- 2日、アルジェリアサッカー協会(FAF)はコミュニケにて、パレスチナとの連帯を示すために停止していた国内リーグ戦を無観客で再開する旨発表。
- 11日、テブン大統領は、ラルバウイ大統領府官房長を新首相に任命。
- 13日、与党・国民解放戦線(FLN)の第11回党大会でベンバレク氏が党首に就任。
- 16日、テブン大統領は、アルジェリア経済再生評議会(CREA)開催の起業家デーの開会式に出席。
- 27日、メラッド内務・地方自治・国土整備相は、開発計画の実施に係る事実隠蔽と虚偽報告を理由に、ルリザンヌ県知事及び同県内のゼムーラ郡長を解任。
- 28日、テブン大統領は、新たにシェルファ農業・農村開発相、ザハナ運輸相を任命。
- 28日、テブン大統領は、ベンバレクFLN党首と会談。

外交

- 5日、テブン大統領は、アルジェ訪問中のダルマナン仏内相と会談。
- 6日、スロベニアを訪問中のアッターフ外相は、ピルツ＝ムサル大統領、ファヨン副首相兼外相と会談。
- 6日、第6回アルジェリア・韓国政策協議がソウルで開催。
- 7日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、アルジェ開催の人権及び人民の権利に関するアフリカ裁判所(AfCHPR)第71回通常総会の開会式に出席。
- 7日、ルーマニアを訪問中のアッターフ外相は、チウカ上院議長、オドベスク外相と会談。
- 7-9日、ベラベド国民教育相は、パリ開催の第42回ユネスコ総会に際し、無形文化遺産保護条約政府間委員会の次期委員国への立候補を表明するとともに、南アフリカ、チュニジア、イタリア、トルコ、フィンランドの教育相、ロシア外務次官と面会。
- 8日、マグラマン外務次官は、アルジェ訪問中のマリキ・オスマン・シンガポール首相府相兼第二外相と両国の国交樹立40周年を記念するワーキングセッションを共催。
- 9日、キンシャク・ロシア外務大臣特使兼中東・北アフリカ局長が当地を訪問し、マグラマン外務次官を始めとする当国外務省関係者との間で、イスラエル・パレスチナ情勢について協議。
- 11-17日、シェングリハ国軍参謀総長は、中国を訪問し、中央軍事委員会統合参謀長及び装備開発部長と個別に会談したほか、工業・軍事複合施設、宇宙飛行士センター、第72航空旅団、航空機を製造する中国航空技術輸出入有限責任公司(CATIC)や上海海軍基地等の視察等を視察。
- 12日、モンカダ・ニカラグア外相は、当地を訪問し、アッターフ外相と会談するとともに、テブン大統領を表敬。

- 14日、外務省はコミュニケにて、カタール・ガザ復興委員会本部への攻撃を受け、断固とした非難と強い憤りを表明。
- 14-15日、アッターフ外相は、英を訪問し、アーマッド卿閣外大臣(中東・南アジア・国連担当)と共に、第2回両国戦略対話を共催するとともに、安保理に係る協議会への参加、チャタムハウスでのサヘル情勢に関する講演、両国ビジネス評議会メンバーとの会談を実施。
- 17日、ラマムラ前外相は、スーダン国連事務総長個人特使に就任。
- 17日、ベンターレブ労働・雇用・社会保障相は、統一アフリカ労働協会(OUSA)の第12回大会に参加。
- 19日、ベルハージ憲法裁判所所長及びタッビ法務・国璽相は、グリツシア・チュニジア行政裁判所第一所長と会談。
- 20日、ラルバウィ首相は、第6回アフリカ司法対話の開会を宣言。
- 21日、テブン大統領は、当地訪問中のエルドアン・トルコ大統領と共に、第2回二国間ハイレベル協力評議会を共催。
- 21日、ラルバウィ首相は、アル＝ハサーウネ・ヨルダン首相兼国防相と電話会談。
- 21日、タッビ法務・国璽相は、当地訪問中のアル＝サマーニ・サウジアラビア法務相と会談。
- 22日、ブガリ国民議会(下院)議長は、ノボア・エクアドル大統領の就任式に参加。
- 22-24日、アッターフ外相は、赤道ギニアでの第5回C10首脳会合に参加。オヨノ・エソノ・アンゲ同国外相、ガコソ・コンゴ(共)仏語圏・在外自国民相、アンマール・チュニジア外相、メルズーグ・モーリタニア外相、バーウールリビア外務・国際協力担当相と会談するとともに、ビオ・シエラレオネ大統領を表敬。
- 22-24日、コンスタンティーヌ県にて、第1回植民地化と記憶に係る仏・アルジェリア合同委員会が開催。
- 27日、アッターフ外相は、当地訪問中のバシリー・リビア担当国連事務総長特別代表(SRSG)と会談。
- 27-12月5日、当地訪問中のローラー人権擁護者の状況に関する国連特別報告者は、ラアガブ報道相、ザアラニ国家人権評議会(CNDH)議長、ベンブラハム国立市民社会監視機構(ONSC)代表、メラッド内務・地方自治・国土整備相、クリク国民連帯・家族・女性相、アンムール共和国調停者テッビ法務・国璽相、ベルマフディ宗教・ワクフ相らと会談し、当地訪問の成果を発表。
- 27-30日、当地訪問中のアブードAfCHPR長官は、ベルハージ憲法裁判所所長、グジル上院議長、アッターフ外相と会談。
- 28日、シェングリハ国軍参謀総長は、アルジェ開催の共同軍事参謀委員会(CEMOC)臨時会合に参加。
- 28日、テブン大統領は、パレスチナ人民連帯国際デー(注:29日)に際し、パレスチナの正当な闘いと大義を支持するメッセージを発出。
- 28日、テッビ法務・国璽相は、当地訪問中のクラスノフ・ロシア検事総長と会談し、テロ・租税回避・サイバー犯罪等の重大犯罪対策の両国協力議定書に調印。
- 29日、シェングリハ国軍参謀総長は、チュガエフ・ロシア軍事技術協力局長と会談。
- 29日、マグラマン外務次官は、ラフィーエフ・アゼルバイジャン外務副大臣(中東・アフリカ

担当)と共に、バクーにて第1回両国政策協議を共催。

●30日、アッターフ外相は、職業訓練・専門教育省主催のアフリカ人研修生の歓迎式典に参加。

## 経済

●1日、アルジェリア投資促進庁(AAPI)は、2022年11月に創設されて以降、2兆DA超の4000件のプロジェクトが登録された旨発表。

●2日、アルジェリア中央銀行は10月19日付官報第69号にて、新10DA硬貨の発行、外貨両替所の設立及びその開設条件を発表。

●2日、アルジェリア中央銀行は、融資申請のためのデジタル・プラットフォームを開設。

●4日、商業・輸出促進省は、輸入業者に対し、新デジタル・プラットフォームを通じた証明書の申請・撤回の実施を通告。

●8日、5日付官報第70号にて、10月19日付大統領デクレにより、国営炭化水素公社ソナトラックの副社長8人が解任されていたことが判明。

●8日、5日付官報第70号にて、2023年補正予算法が公布。

●9日、アウン産業・製薬相とジトゥニ商業・輸出促進相は、ボルジ・ブ・アレリジ県における中国自動車ブランド奇瑞(Chery)の生産工場の建設計画を発表。

●11日、ヘンニー農業・農業開発相は、過去2年間で穀物と粉ミルクの在庫の大幅な増加を発表。

●12日、農業・農村開発省は、アルジェリア農産物規制協会(SARPA)と中国企業の間、農業製品取引の強化に係る契約締結を発表。

●12日、AAPI、アルジェリア対外銀行(BEA)、Cash Assurances社は、投資家支援の枠組みで、各機関の交流、協力、調整に係る協定に署名。

●12日、ハスナウィ社は、日産との間の、オラン県での自動車工場設立に係る協力契約締結を発表。

●12日、伊フィアット社は、オラン県同社工場の進捗は95%以上で、12月末までに稼働する旨発表。

●13日、第11回北アフリカ・エネルギー・炭化水素会合(NAPEC)がオラン県で開催。

●13日、自動車ディーラーのハリル・グループは、独オペル社の自動車を11月15日から販売する旨発表。

●14日、ラフルーフ公共事業・基礎インフラ相は、ウラルオール・トルコ運輸・インフラ相と共に、第19回国際公共事業サロンの開会式を実施。

●14日、ハシシ・ソナトラック総裁は、探査・生産部門、パイプライン輸送部門、液化・分離部門、精製・石油化学部門の新副総裁就任を発表。

●14日、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は、2024年初頭に国家自営業者庁を設立する旨発表。

●15日、ショルファ運輸相は、非炭化水素分野の輸出促進のため、アルジェ国際空港への貨物機配備を発表。

●15日、ファーイド財務相は、税関業務のデジタル化を促進する国立税関情報伝達システムセンター(CNTSID)の運用開始を発表。

- 21日、ハシシ・ソナトラック総裁は、フィダン・トルコ石油ガス公社(BOTAS)と共に、3年間のLNG売買契約に署名。
- 23日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、サウジアラビア・リヤド開催の両国経済フォーラムに参加。
- 25日、アルジェリア銀行は、2022年経済レポートを発行し、前年比でGDP成長率が+3.2%、インフレ率が+9.7%、食料品価格が+13.4%、外貨準備高が前年の453億から609.9億米ドルへの増加を公表。
- 26日、財務省は、国際仲裁のための国家諮問評議会を設置。
- 26日、アジャル電力公社ソネルガスCEOは、ジジェル県の同社関連施設を視察し、2024、25年に同県でのエネルギー・プロジェクトへの50億ディナールの投資実施を発表。
- 26日、高等教育・科学研究省は、米ファイザー社と共同で、バイオテクノロジー分野の次世代を担う若手育成に向けたB-Imtiyazイニシアティブを開始。
- 27日、国営貯蓄共催銀行(CNEP)は、複数県でイスラム金融に特化した11支店を新設。
- 28日、高等教育・科学研究省は、中国ファーウェイ社との間で、学生支援、大学等への最先端技術導入に係る協定に署名。
- 29日、アルジェリア・チュニジア経済フォーラムがアルジェで開催。
- 11月28日、産業・製薬省担当局長は、仏のプジョーとルノーに対する新車の輸入認可が下りた旨発表。
- 11月29日、地方開発銀行(BDL)は、初のイスラム金融専門支店をアルジェに開設。
- 11月30日、第36回OPECプラス閣僚会合において、アルジェリアを含む加盟国は、来年末まで原油の減産を維持することで合意。更にアルジェリアは、来年末までの日量4.8万バレルの自主減産に加え、来年1月から3月末までの間に日量5.1万バレルの追加自主減産を決定。

## 治安

- 2日、国軍は、10月25日－11月1日実施の掃討作戦でテログループ支援者7人を逮捕した旨発表。
- 4日、オラン県警察は、商店から男性1名が車両で連れ去られるSNS上に投稿された動画を基に、誘拐の容疑者3人を逮捕した旨発表。
- 8日、憲兵隊は、スーカハラス県で情報に基づき車両検問を行い、禁輸品である外国製カメラ付きドローン5機を隠匿した車両を発見し、乗車していた2人を逮捕した旨発表。
- 10日、ティジ・ウズ県警察は、女性が実業家を誘惑し、アパートやホテルの部屋に引き込み盗撮した映像をSNS上で公開すると脅して400万から1千万DAを要求する恐喝を専門とする7人のグループを逮捕した旨発表。
- 10日、アルジェ県警察は、8－9日にかけての夜間、バラキ地区で不審者64人を検挙の上16人を逮捕し、麻薬、薬物、刃物、麻薬密売で得た金銭を押収した旨発表。
- 10日、憲兵隊は、アルジェ県アイン・ベニアン地区、ルイバ地区及びスタウエリ地区にて薬物密売を行っていた犯罪組織のメンバー11人を逮捕し、向精神薬21271錠、キフ、コカイン、153万ディナール及び車両を押収した旨発表。
- 16日、国軍は、8日から14日までの掃討作戦で、テログループ支援者12人を逮捕した

旨発表。

●21日、アルジェ県警察は、ルイバ地区の駐車場で1名を誘拐し身代金を要求していたグループを通報に基づき捜査し、人質の拘束場所を特定し、人質を解放するとともに、犯人10人を逮捕した旨発表。

●25日、憲兵隊は、オラン県海岸からの海路密出国を取締り、企画準備者45人、モロッコ人26人を含む111人を逮捕し、ボート8艘、497万DA等を押収した旨発表。

●25日、メデア県警察は、アフリカ国籍不法入国者の国内通行を多額の金銭と引換えに支援していた2つの犯罪網を摘発し、同グループに所属する3人を人身取引の容疑で逮捕した旨発表。

●25日、憲兵隊は、トゥグルト県で薬物の密輸・取引を専門とする組織犯罪網を検挙し、向精神薬5万2千錠を押収した旨発表。

(了)